

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	化粧品原料学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 火曜3限目	教室名	
担 当 教 員	伊藤真央	実務経験とその関連資格	大手エステサロンにエステティシャンとして勤務。その後、専門学校の講師として講義、実習、サロンワークを行う。			
《授業科目における学習内容》						
化粧品概論、フェイシャル、ボディ化粧品を中心に化粧品の理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験 ※小テスト、中間テストは無し						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料等						
《授業外における学習方法》						
授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておいてください。						
《履修に当たっての留意点》						
自身の化粧品選択やお客様に情報提供が出来る知識を習得させる授業を行います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品原料学の授業について理解できる	配布資料		
	各コマにおける授業予定		・授業内容について(評価、試験、授業目標について) ・美容について、 ・化粧品アンケート(学生の使用しているもの、気になるものをリサーチ)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品概論について理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。	
	各コマにおける授業予定		・化粧品と医薬部外品について ・化粧品の分類、品質、保証、取り扱い留意点について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	フェイシャル化粧品の目的と働きを理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。	
	各コマにおける授業予定		・目的と働きについて ・洗顔化粧品、整肌化粧品、割賦化粧品について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボディ化粧品の目的と働きについて理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。	
	各コマにおける授業予定		・目的と働きについて ・洗浄、シェイプアップ、サンケア、制汗、防臭剤について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品の目的と働きについて理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。	
	各コマにおける授業予定		・目的と働きについて ・ベースメイク、ポイントメイクについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヘアケア化粧品の目的と働きについて理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・目的と働きについて ・各化粧品の剤型、使用目的、効果について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	フレグランスの目的と働きについて理解できる	配布資料・精油	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・目的と働きを理解させる ・香りの分類と効果について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品の原料について理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・剤型タイプの特徴 ・原料について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品に用いられる薬剤について理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・原料について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品成分の選び方について理解できる①	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・肌のお悩み、トラブル別に効果的な成分について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品成分の選び方について理解できる②	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・肌のお悩み、トラブル別に効果的な成分について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品の使用方法を理解できる	配布資料・化粧品	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・化粧品の使用方法を実習形式で行う		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品と環境について理解できる	配布資料	・授業の始めに前回の復習を小テストをしていくため、復習しておく。
		各コマにおける授業予定	・季節や気候にあわせた化粧品選びについて		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業内容を理解できる	配布資料 復習プリント	
		各コマにおける授業予定	・復習プリントを行い、理解度の確認 ・再度重要ポイントの説明		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業内容を理解できる		
		各コマにおける授業予定	総まとめ		